

(6月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
すいか類		11,642	90	10,771	195	99	167	4	-	すいか類は入荷量少なく、現状は強めの市況となっている。熊本県産が終期を向かえ、6月は千葉県産を中心に、茨城県産、鳥取県産などが出回る。千葉産は曇天、雨天の影響によりMA中心のサイズで小玉傾向。入荷は前年の8割と予想される。鳥取産は順調な出荷が予想されるが、出荷が前進した前年に比べ入荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷量は主力の千葉産の入荷減から前年を下回り、価格は前年並みの見込み。
メロン(アンデスメロン)		1,436	98	1,734	360	103	335	39	2.7	茨城県中心の入荷となる。茨城産は天候不順の影響により生育・出荷が遅れている。大きさも小玉傾向で入荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷量も少なかった前年をやや下回り、価格は高値だった前年並みと見込まれる。
おうとう		983	103	1,208	1,976	92	1,714	685	70	主力の山形産は不作だった前年を上回るが、平年を下回る入荷と予想される。価格はマンゴーとの競合はあるものの安定した人気商品であり販売は堅調と見込まれる。全体の入荷量は不作だった前年を上回り、価格は高値だった前年を下回る見込み。5月下旬から無化温の出荷が始まる。
ハウスみかん		791	95	984	1,039	116	898	0	0	佐賀、大分、愛知産中心の入荷となる。産地全般に作付けは減少しており、それに伴って入荷量も減少する見込み。原油高騰から加温の温度設定を低く押さえているため、着色も遅れている。全体の入荷量は作付け減、着色遅れから前年を下回り、価格は入荷減を反映して前年高となる見込み。
ぶどう(デラウエア)		667	120	694	952	86	944	16	2.4	大阪、島根、山梨中心の入荷となる。各産地とも生育の遅れから、6月は入荷量が増える見込み。品質は各産地とも玉張り、食味とも良好。価格は入荷増を反映し前年を下回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
びわ		307	93	328	892	92	900	-	-	長崎、愛媛、香川、千葉中心の入荷となる。本年は各産地とも生育順調であるが、出荷が前進化し入荷増となった前年を下回る見込み。価格は前年を下回る見込み。
マンゴー		138	105	135	2,921	81	1,653	-	-	宮崎中心に入荷。宮崎産は結果樹面積が増えたため、入荷量も増加する見込み。作柄は安定しており、品質も良好。入荷量は前年を上回る見込み。価格は高値安定で推移しているが、高騰した前年を下回ると予想される。